

「小・中学校における情報モラル教育」

北斗市立浜分小学校

教諭 松村 浩良

1. はじめに

本研究会では、情報モラルの授業を公開し、研究発表する等の取組が行われている。しかし、それが、各学校に波及されていない現状が見られる。

そこで、本研究会として、文部科学省等で出された「情報モラル」に関する資料を生かし、各学年の教科書に当てはめる業務が必要不可欠である。

2. 情報モラル指導モデルカリキュラム

以下にある、情報モラルモデルカリキュラム表は、文部科学省委託事業「情報モラル等指導サポート事業」において作成されたものである。

情報モラルは、「**情報社会の倫理**」「**法の理解と遵守**」「**安全への知恵**」「**情報セキュリティ**」「**公共的なネットワーク社会の構築**」の5つに分類される。さらに、網掛けの箇所が各発達段階の大目標を表す。また、網掛けの下の箇所が中目標を表す。

例えば、分類1「**情報社会の倫理**」では、小学校1・2年、3・4年、5・6年の大目標が、「**発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ**」である。それを受けて、小学校1・2年の中目標が「**約束や決まりを守る**」、小学校3・4年の中目標が「**相手への影響を考えて行動する**」、小学校5・6年の中目標が「**他人や社会への影響を考えて行動する**」となる。

分類	小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	中学校
1. 情報社会の倫理	発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ			情報社会への参画において、責任ある態度で臨み、義務を果たす
	:約束や決まりを守る	相手への影響を考えて行動する	他人や社会への影響を考えて行動する。	情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する。
	情報に関する自分や他者の権利を尊重する			情報に関する自分や他者の権利を理解し、尊重する
	人の作ったものを大切にすることを	自分の情報や他人の情報を大切に	情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する	:個人の権利(人格権、肖像権など)を尊重する
				著作権などの知的財産権を尊重する
分類	小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	中学校
2. 法の理解と遵守		情報社会でのルール・マナーを遵守できる。		社会は互いにルール・法律を守ることによって成り立つ

				ていることを知る
		情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る	何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない	違法な行為とは何かを知り、違法だとわかった行動は絶対に行わない
			「ルールやきまりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する	:情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る
			契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない	契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する。
分類	小学校１・２年	小学校３・４年	小学校５・６年	中学校
３．安全への知恵	情報社会の危険から身を守るとともに、不適切 な情報に対応できる			危険を予測し被害を予防するとともに、安全に活用する
	大人と一緒に使い、危険に近づかない	危険に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する	予測される危険の内容がわかり、避ける	安全性の面から、情報社会の特性を理解する
	不適切な情報に出合わない環境で利用する	不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する	不適切な情報であるものを認識し、対応できる	:トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る
	情報を正しく安全に利用することに努める			情報を正しく安全に活用するための知識や技術を身につける
		情報には誤ったものもあることに気づく	情報の正確さを判断する方法を知る	情報の信頼性を吟味できる
	知らない人に、連絡先を教えない	個人の情報は、他人にもらさない	自他の個人情報を、第三者にもたらない	:自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる
	安全や健康を害するような行動を抑制できる			自他の安全や健康を害するような行動を抑制できる
	決められた利用の時間や約束を守る	健康のために利用時間を決め守る	健康を害するような行動を自制する	健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる
			人の安全を脅か	自他の安全面に配慮した、情

			す行為を行わない	報メディアとの関わり方を意識し、行動できる
分類	小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	中学校
4. 情報セキュリティ	生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る			情報セキュリティに関する基礎的・基本的な知識を身につける
	:	認証の重要性を理解し、正しく利用できる	不正使用や不正アクセスされないように利用できる	情報セキュリティの基礎的な知識を身につける
			情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる	情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる
			情報の破壊や流出を防ぐ方法を知る	基礎的なセキュリティ対策が立てられる
5. 公共的なネットワーク社会の構築		情報社会の一員として、公共的な意識を持つ		情報社会の一員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる
		協力し合ってネットワークを使う	ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	ネットワークの公共性を意識して行動する

3. 情報モラル指導モデルカリキュラムを生かした教育課程

情報モラル指導モデルカリキュラムを提示するだけでは、情報モラル教育は軌道に乗らない。教育課程に位置づけることが重要である。そこで、小学校5・6年生において、情報モラル指導モデルカリキュラムを生かした教育課程を提示する。

分類	大目標	中目標	各教科等と 単元名（小単元）	主な学習活動
1. 情報社会の倫理	発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ	他人や社会への影響を考えて行動する。	国語5上：教出p38-41 情報を深める	取り上げられた言葉表現の事例を抜き出し、自分ならどのように感じるかを話し合う。 同じできごとを知らせた複数の新聞の見出しなどを持ち寄り、比べて話

				し合い、気づいたことをまとめる。
	情報に関する自分や他者の権利を尊重する	情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する	社会 5 下 : 教出 p26-27 くらしを支える情報 (情報を上手に使いこなす)	これからの社会の中で情報の果たす役割について考え、情報の受信者や発信者として、情報をくらしに生かしていくために大切なことを考える。
分類	大目標	中目標	各教科等と単元名	主な学習活動
2. 法の理解と遵守	情報社会でのルール・マナーを遵守できる。	何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない	社会 5 下 : 教出 p20-21 くらしを支える情報 (情報を上手に使いこなす)	これからの社会の中で情報の果たす役割について考え、情報の受信者や発信者として、情報をくらしに生かしていくために大切なことを考える。
		「ルールやきまりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する	社会 5 下 : 教出 p22-23 くらしを支える情報 (情報を上手に使いこなす)	
		契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない	社会 5 下 : 教出 p30-31 くらしを支える情報 (情報を上手に使いこなす)	
分類	大目標	中目標	各教科等と単元名	主な学習活動
3. 安全への知恵	情報社会の危険から身を守るとともに、不適切 な情報に対応できる	予測される危険の内容がわかり、避ける	社会 5 下 : 教出 p26-27 くらしを支える情報 (情報を上手に使いこなす)	パソコンの登場で便利になったことや問題点について話し合い、パソコンを上手に使いこなすためにはどうしたらよいか話し合う。
		不適切な情報であることを認識し、対応できる	社会 5 下 : 教出 p26-27 くらしを支える情報	これからの社会の中で情報の果たす役割について考

			報（情報を上手に使いこなす）	え、情報の受信者や発信者として、
	情報を正しく安全に利用することに努める	情報の正確さを判断する方法を知る	社会 5 下：教出 p26-27 くらしを支える情報（情報を上手に使いこなす）	情報をくらしに生かしていくために大切なことを考える。
		自他の個人情報を、第三者にもたらない	社会 5 下：教出 p26-27 くらしを支える情報（情報を上手に使いこなす）	
	安全や健康を害するような行動を抑制できる	健康を害するような行動を自制する	保健 5, 6：東書 p8-9 心の健康	心は人とのかかわり、あるいは自然とのふれあいなど
		人の安全を脅かす行為を行わない	保健 5, 6：東書 p8-9 心の健康	いろいろな生活体験や学習を通して、年齢に伴って発達することを理解する。
分類	大目標	中目標	各教科等と単元名	主な学習活動
4. 情報セキュリティ	生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る	不正使用や不正アクセスされないように利用できる	社会 5 下：教出 p26-27 くらしをささえる情報（情報を上手に使いこなす）	インターネットの便利さや問題点について話し合い、「インターネットのよい点、悪い点」というテーマでレポートを書く。
	情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる	情報の破壊や流出を防ぐ方法を知る	社会 5 下：教出 p26-27 くらしをささえる情報（情報を上手に使いこなす）	
分類	大目標	中目標	各教科等と単元名	主な学習活動
5. 公共的なネットワーク社会の構築	情報社会の一員として、公共的な意識を持つ	ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	社会 5 下：教出 p14-15 くらしをささえる情報（情報ネットワークを生かす）	情報と自分たちとのかかわりについて話し合い情報を有効に活用しながら生活することの大切さについて自分の考えをもつ。

